

建築とコラボするアーティスト ～第1回～

アーティスト 吉田 夏奈 さん

室内で瀬戸内海の風景を体感させるアート

『みどりのしまからあかいもみじを』献血ルーム「もみじ」

リニューアルされた本通り入口の献血ルーム「もみじ」の壁面と柱に、宮島から望む瀬戸内海の風景画—クレヨン画—が描かれています。入口を入ってすぐ、両サイドに位置する四角の柱には、宮島の山頂付近の山々や、その稜線の風景がぐるりと描かれています。柱の奥に位置する壁面には、宮島山頂から一望できる瀬戸内海の島々のパノラマ風景が広がっています。つまり、柱の周囲や壁面の端まで移動しないと絵の全体像を見ることができません。鑑賞者の身体の変動と共に絵の変化を楽しむ作品になっています。こういった絵の構成は、吉田さんが実際に弥山から駒ヶ林周辺を散策し、そのとき移動しながら見えるいくつかの風景を組み合わせているそうです。近くに望む山々を手前の柱に、遠くに望む海を奥の壁面に、というように、山頂から望む風景の奥行きとそれを表現する室内空間を機能的に利用して作品を展開されています。

吉田さんは今後の活動について次のように述べていま

す。「宇宙や自然について変わらず研究していきますが、人間の可視領域外に存在するもの、こと、そして、見えているものと見えていないものの関係性、そういったことも含めての、時空を超えるような風景や空間を考えていきたいです。今回は与えられた壁面での制作作業でしたが、機会があれば企画段階から建築家の方と一緒に空間を創造してみたいです」。

今回の作品は、ビニールクロスにクレヨンで描いた後、定着液スプレーで仕上げ、2週間で制作されたそうです。現在、東京都内のレストランの壁画のプロジェクトが進行中とのこと。これを機会に、広島の建築家とのコラボにより、吉田夏奈さんが素晴らしい空間を創出されることを期待しています。(広島支部 塚田 忠則)



作品タイトルは、緑の美しい広島地から、赤い血がたくさん集まるように、という思いを込めたもの。緑と赤は補色の関係にあり、互いに最も色鮮やかに魅せる相対的な真逆の関係。健康的で生命力に溢れる方を緑色のイメージと重ね、そこから赤い血液をいただくことは、まるで緑の森から赤い紅葉を見つけ出し、生命をつないでいくという、奇跡的な愛の物語の始まりだと吉田さんは言われています。

吉田夏奈さんのプロフィール

1975 東京生まれ／2002 広島市立大学芸術学部卒業／ロサンゼルス、フィンランド、小豆島にてアーティストインレジデンス。東京都現代美術館、東京オペラシティアートギャラリー、瀬戸内国際芸術祭など展覧会多数。現在、香川県小豆島在住。連絡先：knyshd@mac.com

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.95 平成26年9月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL (082) 244-6830 (代) FAX (082) 244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 元廣 清志
編集人 広報委員長 神岡 千春

MONTHLY
No.95 建築士

HIROSHIMA



表紙写真について

神石高原町立 神石高原中学校

- 設計監理／株式会社 あい設計
- 施 工／株式会社 鈴木工務店
- 所 在 地／神石郡神石高原町
- 敷地面積／23,267.29㎡
- 用 途／中学校・寄宿舎
- 建 築 主／神石高原町
- 竣 工／2014 年 3 月

◆校舎棟

- 構造規模／RC造一部S造 地上2階
- 建築面積／2,184.39㎡
- 延床面積／3,367.30㎡

◆寄宿舎等

- 構造規模／RC造 地上3階
- 建築面積／552.09㎡
- 延床面積／1,366.35㎡

◆クラブハウス棟

- 構造規模／RC造 地上1階
- 建築面積／88.65㎡
- 延床面積／88.65㎡



広島県東部の緑豊かな自然に囲まれた、中山間地域に位置する統合中学校である。県内で最も寒い地域であり、雪深い冬季に通学が困難な生徒に配慮し、同一敷地内に寄宿舎を併設し、学習・生活環境の充実を図っている。

また計画地一帯は、町立体育館、老人福祉施設、図書室、多目的グラウンド、テニスコートなどが集積する「シルトピアセンター」という地域の交流拠点であり、中高一貫教育を

核とする統合中学校の整備により、さらなる相乗効果が期待されている。

校舎中央には2層吹き抜けの交流ホールを配置し、日常的なコミュニケーションはもとより、式典などの学校行事や地域交流行事、学習成果の発表や中高一貫教育を推進する多様な活動に対応できる空間としている。交流ホールを中心に、南側に管理諸室・普通教室、北側には特別教室群が展開する。

専攻建築士登録の申請期間 及び
CPD単位の取得期間が変更になります

- 26年度申請分より、
毎年11月申請 → 毎年1月申請に変更になります！
■申請受付期間 毎年1月1日～2月末日（休日は除く）
■CPD単位取得期間
①新規申請者
申請年の前年の1月1日から申請年の前年の12月31日までに取得した単位（12単位以上）
※平成27年1月1日～2月末日に新規申請する場合、平成26年1月1日～12月31日までに取得した単位が12単位以上必要
②更新申請者
申請年の5年前の1月1日から申請年の前年の12月31

- 日までに取得した単位（60単位以上）
※平成27年1月1日～2月末日の更新申請の対象者は、平成27年3月31日が期限の方
※CPD単位は、平成22年1月1日～平成26年12月31日に取得した単位が60単位以上必要

■申請方法

- 申請書式・専用サイトについては、11月下旬頃、当HPにアップします
①新規申請者→従来通り申請用紙を提出
②更新申請者→従来通り申請用紙を提出
または専用システムを使ってサイトからも更新申請が可能
■費用（税別）
①新規……………16,000円
②更新（申請書による申請）……………12,000円
（WEB申請*割引適用）……………9,000円

CPD認定プログラム（9月～10月の広島県内実施分）

8月20日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
9/6	身近な防災を楽しく学ぶ その1 身の回りの危険を知ろう	3	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
9/10	監理技術者講習	6	建設業振興基金	03-5473-1585
9/16	2014年日本建築学会賞（作品）受賞者記念講演会	2	日本建築学会	03-3456-2056
9/18	「ペアガラスの製造工程と機能ガラスの勉強会」工場見学会	2	日本建築積算協会	082-221-9759
9/25	構造設計一級建築士定期講習（FC）	6	建築技術教育普及センター	03-5524-3105
9/26	設備設計一級建築士定期講習（FD）	6	建築技術教育普及センター	03-5524-3105
9/26	建築技術者のための建築講演会「住宅設計と敷地環境」	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
9/27	第8回鋼構造セミナー「天井の耐震化－設計と施工」	3	日本建築学会中国支部	082-921-9420
10/2	建築物の鉄骨の組み立て等作業主任者技能講習 in 福山 第1日目	6.5	建災防広島県支部	082-228-8250
10/3	建築物の鉄骨の組み立て等作業主任者技能講習 in 福山 第2日目	4.5	建災防広島県支部	082-228-8250

行政ニュース

県建築指導課

建築基準法及び同法施行令の改正に伴い、エレベーターの昇降路の部分について、容積率の算定の基礎となる延べ面積に算入しないこととする、「エレベーターに係る容積率制限の合理化」などが行われることとなりました。

【改正の概要】

- （1）階段に係る規制の合理化
- （2）防火上主要な間仕切壁に係る規制の合理化
- （3）圧縮ガス等を貯蔵等する建築物に係る用途規制の合理化
- （4）エレベーターに係る容積率制限の合理化

なお、上記の改正は、平成26年7月1日に施行されています。詳しくは、国土交通省のHPをご覧ください。か、所管の特定行政庁にお問い合わせください。

★国土交通省HPアドレス

http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000485.html

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

（既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入）

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅エコポイント関連業務
- すまい給付金関連業務

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石 山 講

本社 〒730-0029 広島市中区三川町7-1

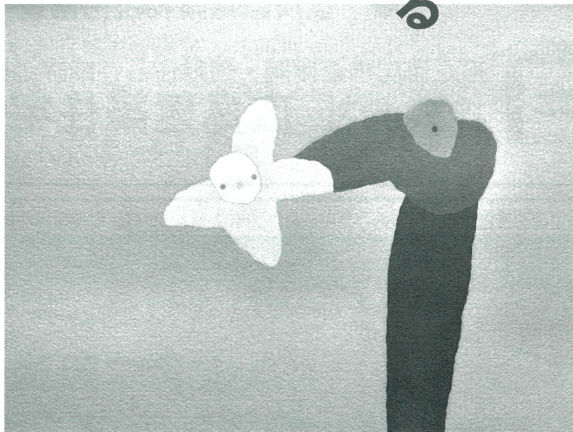
TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京

営業所: 呉

守る、
創る、
思いやる、
ビルへ。



災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

社会活動委員会 女性部交流見学会のお知らせ

今回は呉地区支部が主催する、大長・御手洗への旅です。江戸の町並みが残る歴史と文化の町、そして映画「もへの手紙」の舞台にもなった呉市豊町を訪ねます。

■日時 9月7日(日)10時～16時(予定)

■場所 呉市豊町大長～御手洗

みかんメッセージ館・大町・御手洗の町並み散策

■会費 実費

平成26年度 中四国若手建築志(士)交流会 in しまね(隠岐海士町)のお知らせ

■日時 9月13日(土)～14日(日)

■場所 島根県隠岐海士町

■内容

少子高齢化の波が押し寄せ、若者の島外流失が止まらない状況だった海士町でしたが、島民の知恵を寄せ合い、Iターン者が人口の1割を占めるまでになりました。海士町の現状を知り、会員減に悩む建築士会の現状打破や、若い建築士の結束強化により、今後の建築士会を盛り上げるヒントをつかみたい。もちろん、隠岐諸島の素晴らしい自然・歴史も堪能します。

支部だより 福山支部 一級建築士試験対策講習会

福山支部青年委員会では、講師に東京建築士会の会員でもある、教育的ウラ指導の荘司和樹さんをお招きして、8月16・17日の両日、一級建築士試験対策講習会を開催しました。

試験制度の改正により、設計製図の試験は文章記述によって周辺環境に配慮した計画、構造設計や設備設計に関する能力も試される内容となっています。そのため、これまでよりさらに幅広く深い知識が要求されるようになりました。そのような状況の中で、実際の施設を見学することで計画する施設の内容、使用方法、規模等を知り、受験生の疑問を少しでも解消できればという思いから、施設見学講習を企画しています。



青年委員会 藤井 太郎

1日目は、今年の製図課題が『温浴施設のある「道の駅」』ということで、「みはら神明の里(道の駅)」「天然温泉尾道ふれあいの里(温浴施設)」の、普段見ることのできないバックヤード・機械室等を見学。お盆の忙しい時節にも関わらず、施設管理者の方のご協力で、快く見学させていただきました。

2日目は、見学した施設の解説、道の駅の計画に必要な知識を分かりやすく解説していただきました。

現在のハードな試験制度の中、この福山での講習会から多くの合格者が出て、建築士会の仲間が増えるのを楽しみにしています。



地域だより
県北

邪魔物から宝物へ プチ雪室製作 ～その後～

県北支部 田端 智樹

2月に製作したプチ雪室を解体し、実験結果を検証しました。真冬から、梅雨が明けた「海の日」の休日…真夏へのワープ。セミが鳴いている中、雪が残っていてほしいと願いつつ、作業が始まりました。

・日時 7月20日(日)10:00～16:00

・参加者 2月と同じ、地元農事法人の方々と

地元小学生、会員含め11名

・場所 庄原市高町

◆現地の状況

大木の葉が茂る予定で、その下なので日陰になっているはずだったが、思ったよりも日当たりがよく、期待できないと覚悟していた。しかし、ほんの少し残雪あり！雪室の中は2℃近く、とてもヒンヤリしていた。



◆貯蔵物の変化

・瓶ビール…変化なし。味もほとんど変わらない。

・日本酒…明らかにマイルドになり、おいしくなっている。

・漬物…酸っぱくなっているかと思っていたが、甘みが増して大変おいしくなっていた。

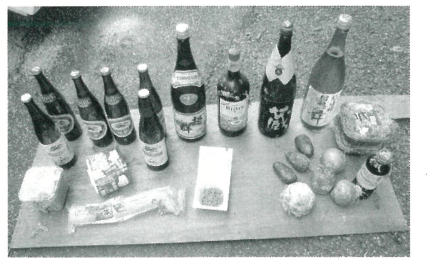
・果物…パイナップル、ミカン類は論外。リンゴは保存する場所によって大きく変化。上層と下層は腐っていたが、中心部に保存していた物は十分に食べられた。

・納豆…少し甘みが増し、おいしい。

カビが生えているかと思ったが、新品そのもの。



・根菜類…ダイコンはなんとか食べられたが、味は微妙。ジャガイモは甘さが増し、おいしくなっていた。タマネギも芽を出して少し味が落ちていたが、とてもみずみずしい。



◆改善点

※やはり日陰でないと厳しい。場所の選定が大きなウェイトを占める。洞穴や地下がベスト。

※断熱材を駆使するのではなく、「空気層」を多いに利用する。断熱材の間に空気層—穀殻等を挟みこむなどの工夫が必要。また、しっかり蓋をして内部の冷気の排出を防ぐ。

※野菜等は「息」をしているので、湿度や水分が少なく、かつ、本体同士が触れ合っていない状態がベスト。実際、ボックス中央で保管していたリンゴと、上部、下部で保存していた物とでは結果が違う。

◆今後に向けて

制作費や材料費を抑え、製作手間を簡略化することによってどこまで保存できるかを実験してみたが、夏を越えることは難しかった。しかし、半年近くは保存できることと、酒やジャガイモ、漬物などは味が変化しておいしくなることが確認できた。一度雪室ボックスを造ると、雨対策をしておけば長期間、繰り返し使える。日陰になる休作地に雪室ボックスを何個か製作して、真夏に冷たい雪室リンゴやジャガイモ、雪室地酒を販売すれば、地元農事法人の休作地の使い道も増えるのではないかという意見が出た。

来年も改善点を考慮して再度チャレンジし、この事業が実用化されて、我々建築士会のメンバーが地元の活性化に少しでも役立てたらと思いつつ、本年度の雪室事業を終わります。

安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット 35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

◆ 住宅かし担保責任保険

住宅保証機構(株) (まもりすまい保険)
(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
(株)ハウスジューメン (ハウスジューメン住宅かし保険)
ハウスプラス住宅保証(株) (ハウスプラスすまい保険)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぴりカバーしています



ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<http://www.jutakuhosho.com/>

広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル 1 階
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330
福山支店：福山市西深津町 1-10-1 TEL：084-973-9143 FAX：084-973-9146



株式会社 ティーエス ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

～ひと・まち・かわの息吹が聞こえる郷づくり～ 歩いてさがそう未来のみよし

社会活動委員会 青年部会長 渋谷 和正
女性部会長 竹内 貴子

7月20日（日）、三次市十日市コミュニティーセンターにて、「歩いてさがそう未来のみよし～ひと・まち・かわの息吹が聞こえる郷づくり～」を開催しました。自らが考えることに重きを置いたこの事業に参加した子どもたちは14名。事業はレクチャー、ウォークラリー、ワークショップに分けられます。

まず、三次の歴史をレクチャースライドで勉強し、引き続き三次の昔と今の地図を比べながらまちを歩きます。最後に、子どもたちがまちで撮影した写真やコメントを90cm角のボードにまとめ、みんなの前で発表します。これら一連の内容を経て、子どもたちは自分たちが住む三次のまちについて、過去を学ぶと同時に、将来を想像することができるようになります。

三次市内だけでなく、他市からの参加者もあり、歴史への興味深さがうかがえました。当日は小雨の天気予報でしたが、子どもたちの願いが通じ、雨に降られることもなく、無事にウォークラリーを実施できました。



◆レクチャー＜過去を学ぶ＞

建築士会メンバーの手作りスライドで始まったレクチャーは、三次の治水事業を軸とした内容で、巴橋付近で合流する3つの川や、周辺に形成されたまちや建物につ



◆ウォークラリー＜昔の地図で今を歩く＞

昔の地図に示されたポイントにたどり着くために、今の地図と見比べます。昔はなかった道路や建物など、少しずつ頭の中で整理しながら、実際のまちを歩きました。

各ポイントではクイズなどが待ち受けており、子どもたちは夢中でまちを散策しました。

三次に暮らす子どもたちにとってはいつも通りのまちですが、この事業をきっかけに、たくさんの新しい発見がありました。



3つの川には様々な歴史がありました



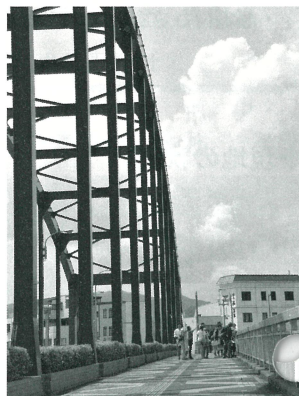
商店街には古い建物や小路がたくさん

◆ワークショップ＜未来を考える＞



最後に、各班ごとに今日学んだことなどの内容をまとめました。自分で撮影した写真を貼り付け、コメントを書いています。そして、みんなの前で発表。1番緊張した瞬間かもしれません。自分の暮らすまちを説明することの難しさと、楽しさを体験できました。

この「歩いてさがそう未来の〇〇」シリーズの事業は、2009年に広島市で開催してから、今年で6都市目となりました。それぞれのまちで、地元の皆様からも好評をいただいております。将来の建築士になるかもしれない子どもたちと、まちの未来と一緒に考える大切さを感じることのできた、素晴らしい事業となりました。



ウォークラリーでは、子どもたちがグループで話し合い、順路を考えながら、「みよしクエスト10」の中からポイントを選びました。昔の地図に示されたクエストを、今の地図と見比べながら探していきます。



【クエスト1】十日市郵便局を探そう

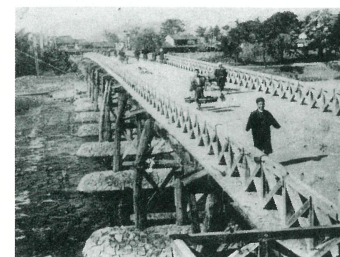
十日市郵便局は昭和47年の大洪水で2階まで浸水し、その後、堤防が築かれるため立ち退きになりました。

【クエスト2】三次駅を探そう

大洪水後、駅前の道路が拡幅されました。現在も、三次市が三次駅周辺整備事業を施行するに合わせ、広島県が国道183線の拡幅を行うなど、更に駅前が変化しています。

【クエスト3】巴橋へ行ってみよう

江戸時代は、防衛上の理由から三次町への架橋は認められておらず、「岩神の渡し」という渡船が用いられていました。明治時代には木製、昭和になりコンクリートの橋になりました。



【クエスト4】弁天公園を探そう

巴橋のたもとにあった巖島神社は、「弁天さん」の名前で親しまれていましたが、大洪水の後、移築され、今ではそれを物語る石碑が残っています。

【クエスト5】三次郵便局を探そう

昭和2年、三次町に三次銀行本店として建てられました。昭和25年に郵便局として払い下げられ、現在は「三次市歴史民俗資料館」として使われています。国の文化財建造物に登録されています。

【クエスト6】森脇旅館を探そう

江戸時代に浅野氏が築いた石積の浅野堤あたりに森脇旅館はありました。大洪水の後、かさ上げして堤防が築かれたますが、昔の石積を一部見ることができます。

【クエスト7】松原公園を探そう

住吉神社前には城下町三次の玄関口として、立派な松並木がありました。大洪水の後、安全な街づくりを優先して河川の大改修が行われ、松並木は無くなりました。

【クエスト8】浅田薬局を探そう

三次町は川を天然の堀に見立て、主・家臣・町人が同じ城郭の中に住まう総廓型の城下町として整備されました。その名残として鍵型道路や筋違い道路、古い堤防の一部などが残っています。平成11年、まちなみ協定が作られ、「卯建のにあう町」を合言葉に、歴史的な街並みを活かした町づくりが始まりました。街並みを整えるため、建物の修復や保存、いろいろな整備が進められています。



【クエスト9】巴橋から西町をみよう

大洪水の後、今まであった石垣の外側に新しい堤防が造られ、道路が広くなりました。

【クエスト10】昭和47年の大洪水を探そう

昭和47年の大洪水時の浸水した高さを示すプレートが、市内57カ所に示されています。

